



漁村消滅を東京の居酒屋が 食い止める！！

～三重県尾鷲市須賀利町の「未利用魚の活用」と「教育・研修事業」で水産業の再生を目指す～

ゲイト&東京都中小企業診断士協会城東支部

全体の概要

**このままでは漁村が消滅！
漁村復活のアイデアがここに！！**

1. 水産業の環境と課題とは？

2. 尾鷲市須賀利町 漁港とは？

3. 尾鷲市の現状と課題を分析！

人口 / 産業 / 漁業 



4. 尾鷲市須賀利町の政策アイデア！！

現在の取り組み と これからの取り組み

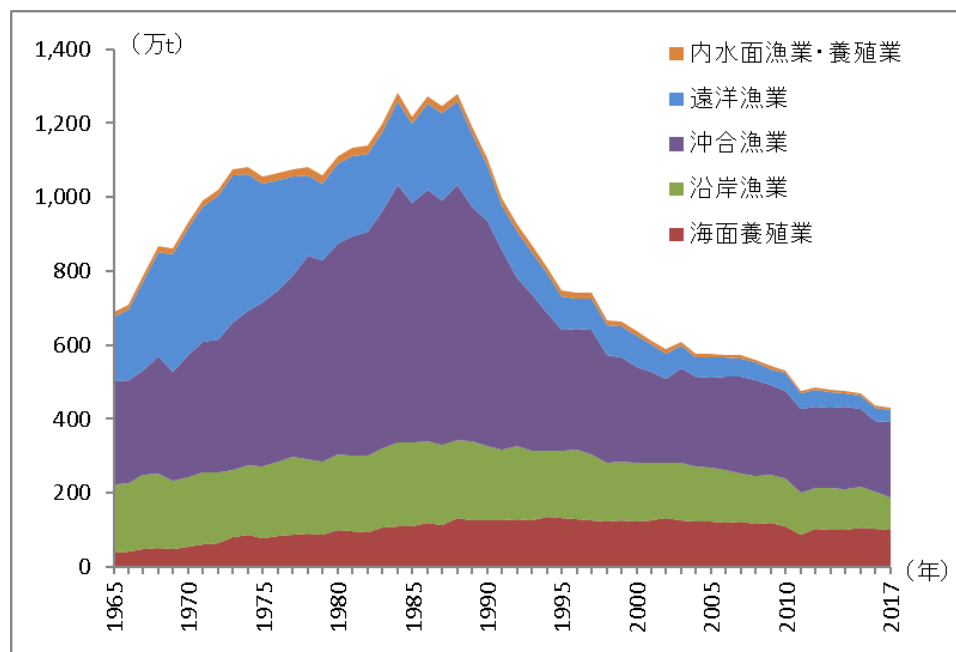
5. 尾鷲市から全国へ展開！！！！

漁村の消滅を食い止める

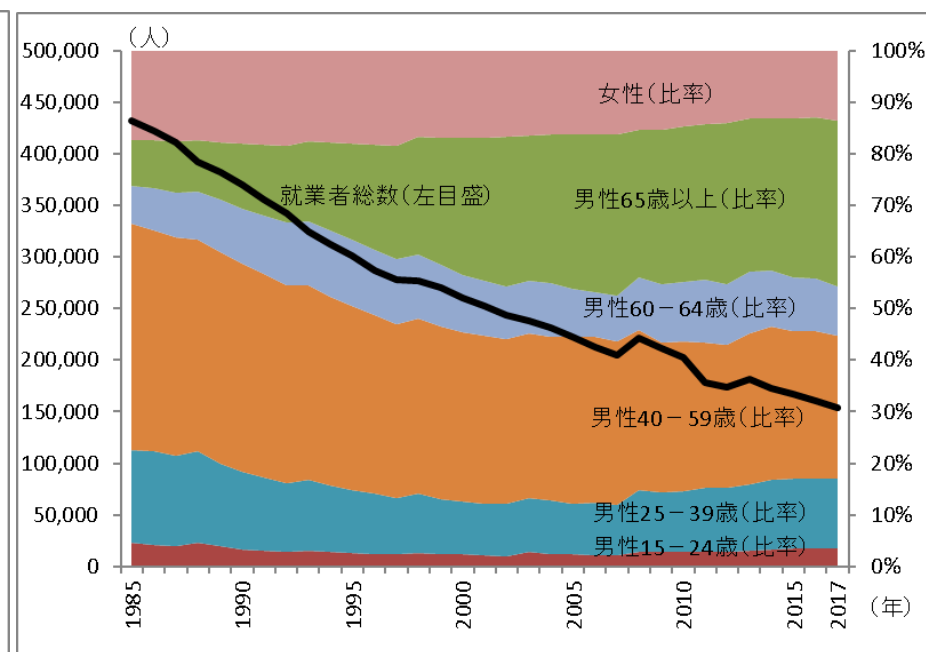
水産業のおかれた環境と課題

- 漁獲量減少、漁業就業者減少と超高齢化は
全国共通の課題

(図) 国内漁業生産量推移



(図) 漁業就業者の推移



(出所) 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

(出所) 農林水産省「漁業就業動向調査」

水産業のおかれた環境と課題

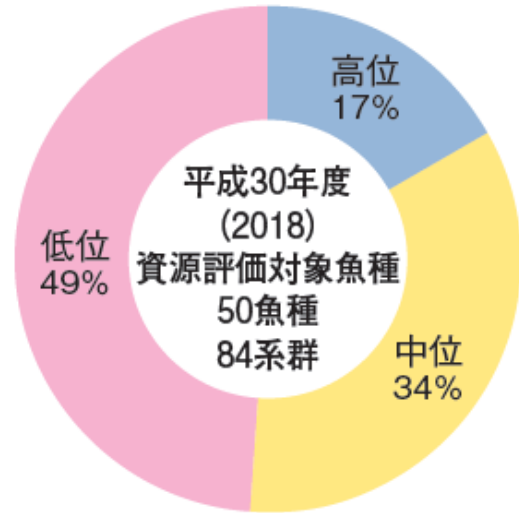
- 水産資源管理に遅れ、低位な資源状況
⇒**持続可能な漁業と水産資源管理の確立は車の両輪**

(図) 主要国の漁獲枠管理方式

国名	個別割当方式 (漁業者、漁船 毎割当)	早い者勝ち	漁獲枠なし
アイスランド	○		
ノルウェー	○		
デンマーク	○		
ニュージーランド	○		
オーストラリア	○		
米国	○	○	
韓国	○		○
日本		○	○

(出所) 各種情報より作成

(図) 日本周辺の資源水準の状況



(出所) 水産白書 (30年度版)

- 本来おいしいのに、量が揃わず**自家消費・養殖用
餌・廃棄される魚 (未利用魚) の有効活用**が課題

(参考) 三重県定置網漁では**約 8 割が未利用魚**

尾鷲市発で水産業の課題解決を目指す

- 株式会社ゲイトは、**日本初の県外企業共同漁業権を取得**し、小型定置網漁に進出
- 資源管理の充実と、地元の人にも気づかない価値ある魚（未利用魚）を都会に流通させ、**地域の所得向上に貢献し、持続可能な水産業を目指す**



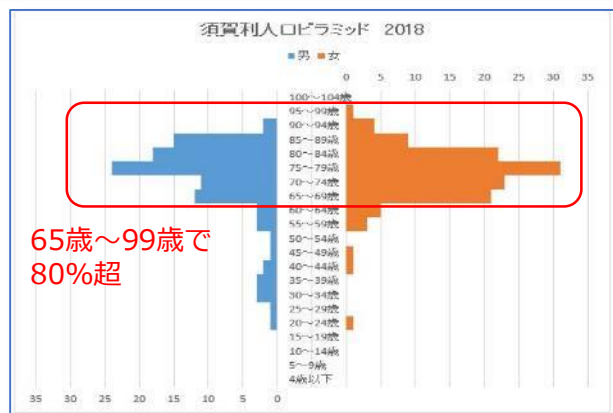
【株式会社ゲイト】

所在地：東京都墨田区菊川、代表者：五月女圭一、設立：1999年、従業員：140名
2010年：飲食事業部スタート、2016年：三重県熊野市に水産加工場開設
2018年：尾鷲市須賀利町で定置網漁をスタート
「かざくら」「くろきん」名で計10店舗の居酒屋を都内で展開中



- 生産者（尾鷲市須賀利町）と都会の消費者を繋ぐ
- 理念を共有する仲間とビジネスモデルを確立させ、共通の課題を抱える全国の漁村に広げていく

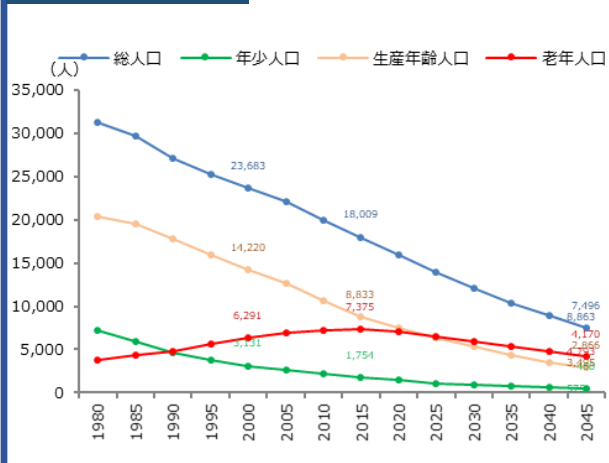
尾鷲市須賀利町 須賀利漁港とは？



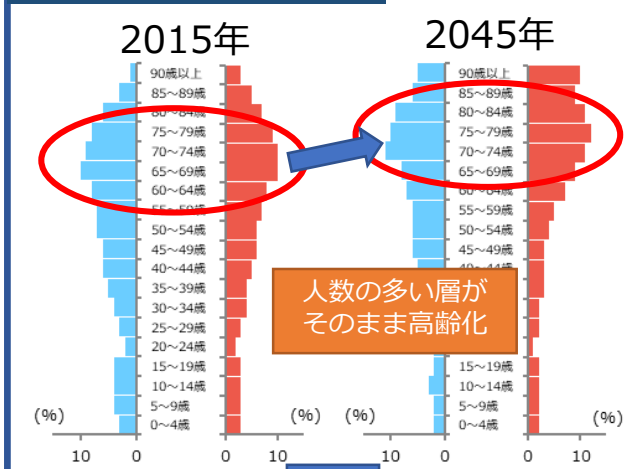
須賀利漁港は、三重県尾鷲市にあり、須賀利町は三重県尾鷲市の飛び地にある小さな漁村。
 「にほんの里100選」にも選ばれている日本の原風景が残る趣深い地域だが、人口は200人。
 高齢化率80%超という世界で類をみない少子高齢化の日本におけるトップランナーである。
 人口減と高齢化により漁村分類で限界化前期型に分類 ※ (※出所：水産庁「漁村活性化のあり方検討会」)

尾鷲市の現状と課題 ～人口関連～

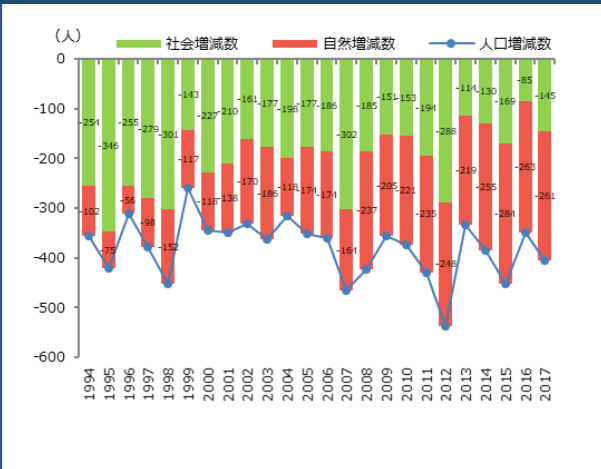
人口推移



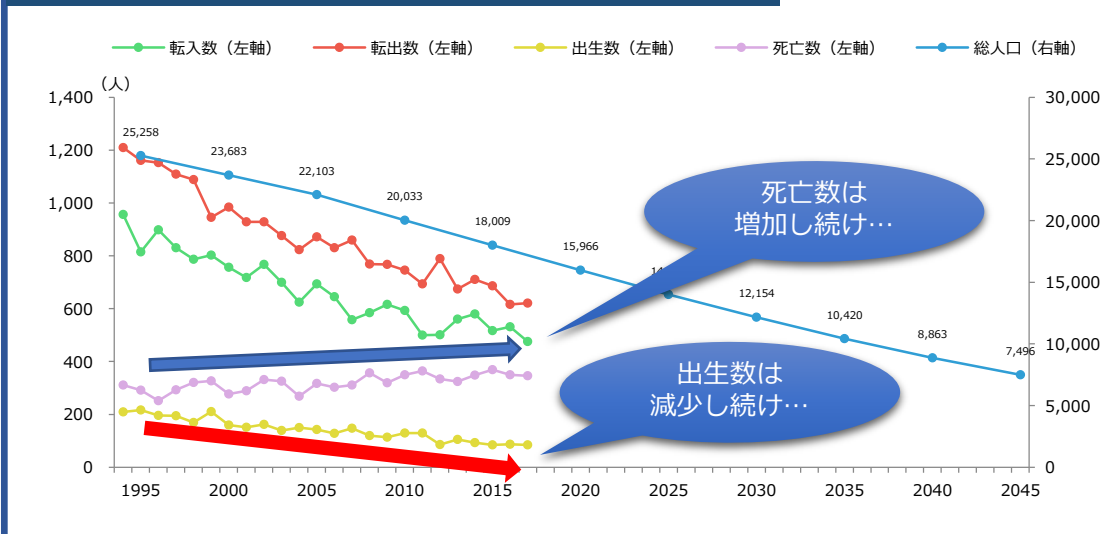
人口ピラミッド



自然増減・社会増減の推移



出生数・死亡数 / 転入数・転出数



RESAS からわかる事

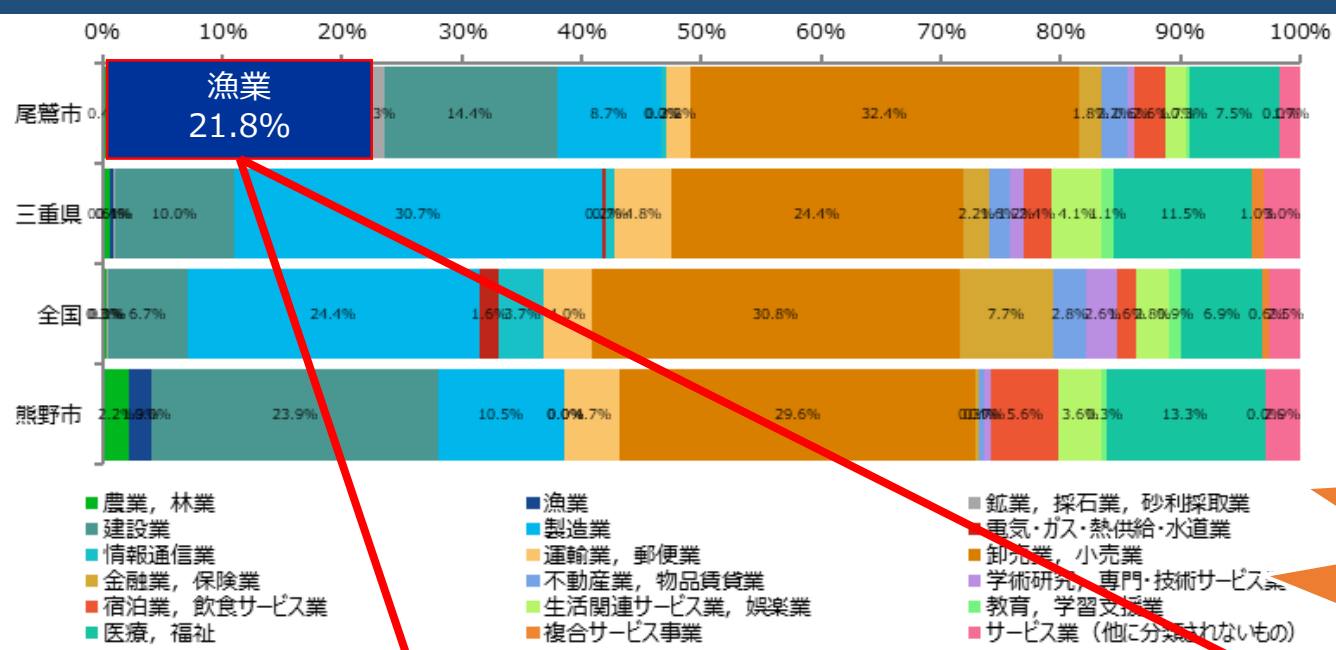
尾鷲市の**人口減少**は年々急速に深刻化。
顕著な少子高齢化の傾向がみられる。

- 常に転出数>転入数
- 自然減に加え、社会減の影響から人口減少大
⇒人口減少に歯止めが効かず
このままでは...

**市の存続が
危機的状況！**

尾鷲市の現状と課題 ～産業関連～

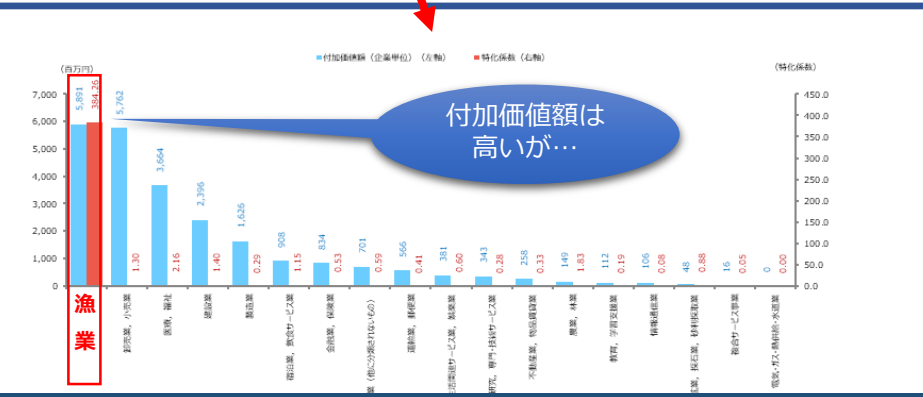
産業大分類別に見た売上高（企業単位）の構成比



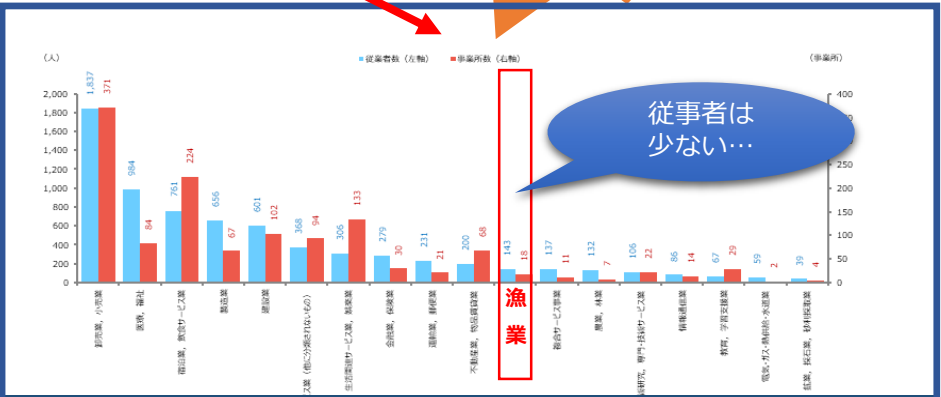
からわかる事

尾鷲市の中心的産業は**漁業**
 三重県・全国・近隣の熊野市と比較して売上高構成比・付加価値額が高く、尾鷲市の主力産業と言える。

大規模特定企業寄与、個人経営漁師含む漁業全体分析は次頁



産業大分類別に見た付加価値額（企業単位）

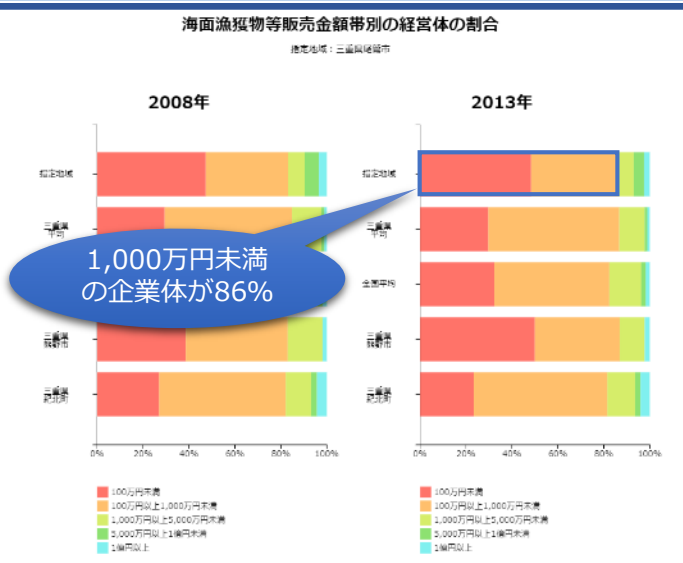
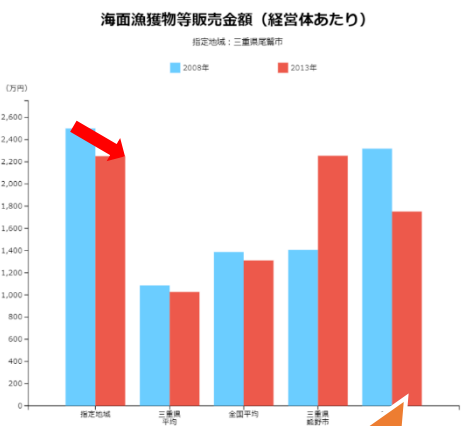
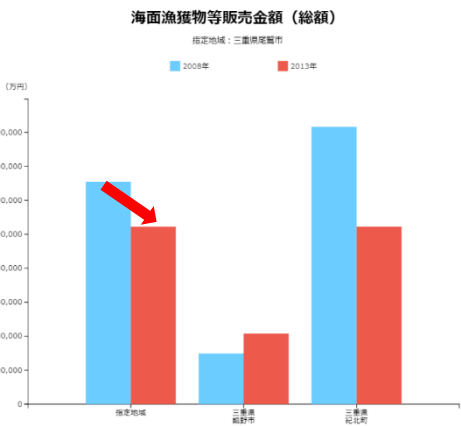


産業大分類に見た事業所数と従業者数（事業所単位）

尾鷲市の現状と課題 ～漁業～

地域全体の販売金額低下

経営体あたりの販売金額も低下



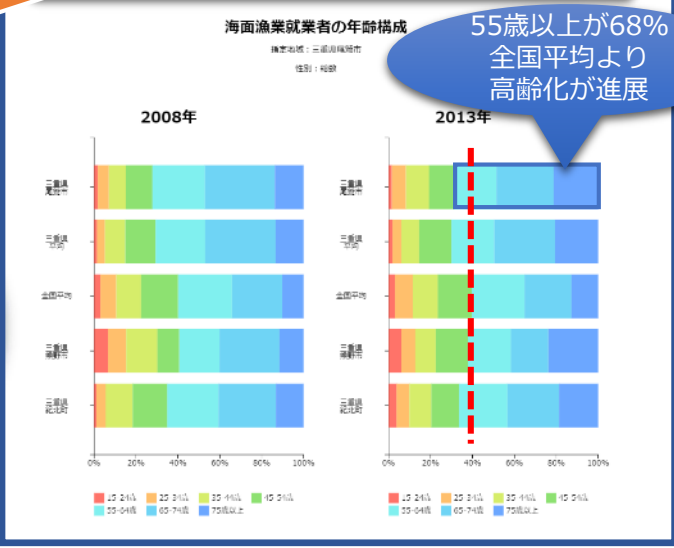
からわかる事



主力産業である
漁業の
稼ぐ力が低下！



未来を担う若者も少ない…



尾鷲市の現状と課題

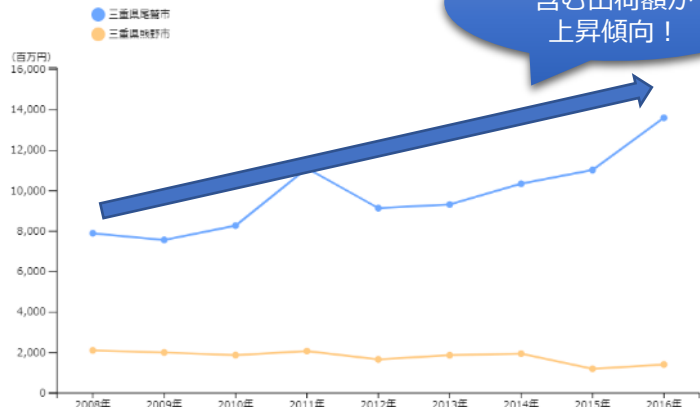
～食料品製造業～

尾鷲市の食料品製造業の出荷額は上昇！

製造品出荷額等

産業：製造業 > 食料品製造業

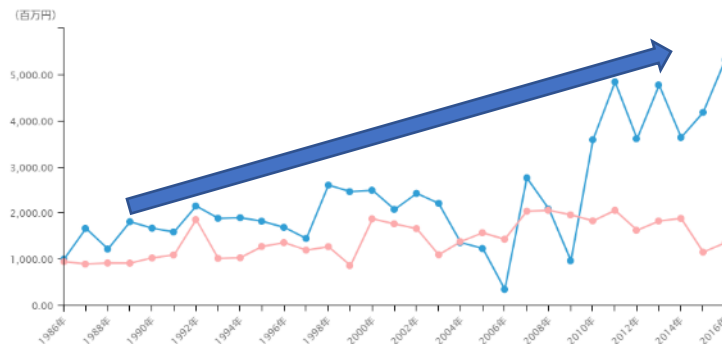
魚の加工食品を含む出荷額が上昇傾向！



付加価値額も上昇傾向！

付加価値額 (実数) の推移

三重県尾鷲市
製造業 > 食料品製造業
三重県尾鷲市 三重県熊野市



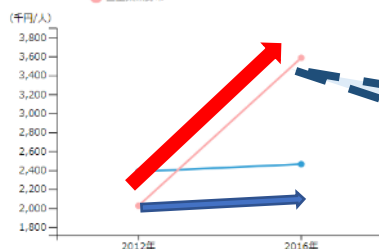
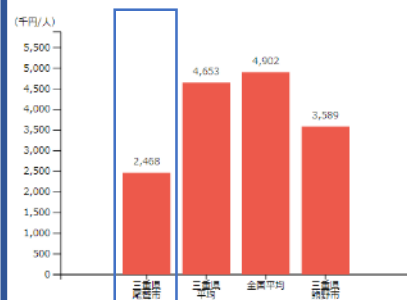
しかし労働生産性は他と比較して低い

労働生産性 (企業単位) 2016年

産業：製造業 > 食料品製造業

労働生産性 (企業単位) の推移

産業：製造業 > 食料品製造業
三重県尾鷲市 三重県熊野市



尾鷲市の加工場だけで賄えるだろうか…



からわかる事

尾鷲市の食料品製造業はこのまま出荷額を伸ばせば、**収益性向上が期待できる。**

しかし人口減少が続き、労働生産性も低い尾鷲市ではこのチャンスを逃してしまうかも…

隣接する**熊野市**でも食品加工は可能。
比較的労働生産性が高い。



尾鷲市単独で考えるのではなく、「近隣との地域連携」も重要なポイント

政策アイデア：水産業の六次産業化(現在)

<課題> 日本の美味しいお魚が食べられなくなる

- ✓ このままでは失われつつある漁村を継続させたい
- ✓ 現状の流通の仕組みでは天然国産魚が8割活用されない

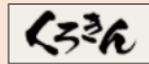
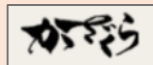
現在の取組(～2019年)



株式会社ゲイト (東京都墨田区)

➤ 居酒屋事業

- ✓ 都内10店舗



三次産業

➤ 水産事業

➤ 漁業

- ✓ 2017年11月 三重外湾漁業協同組合 准組合員として加入
- ✓ 2018年3月 熊野漁業協同組合 准組合員として加入
- ✓ 2018年3月 三重県尾鷲市にて定置網漁操業開始
- ✓ 合わせて定置網魚で漁業者の従業員化を実施

一次産業



➤ 水産加工業 (尾鷲市隣の三重県熊野市 二木島ラボ)

- ✓ 廃業予定であった隣市の水産加工場を事業継承し自社で水産加工を開始
- ✓ 定置網漁で獲った、未利用魚をすぐに加工し急速冷凍
- ✓ 他の漁協組合員の獲った未利用魚も使用
- ✓ 自社便で週一回都内に配送 (途中で産地野菜も積み込み)

二次産業



政策アイデア：水産業の六次産業化(これから)

＜課題＞ モノの流通だけでなくヒトの交流が必要

- ✓ モノの流通から、ヒトの交流も実施して想いを広げる
- ✓ 漁村を支えるために、仲間が必要
- ✓ 資源管理の実現を目指し、協業によるICTで「海の見える化」



これからの取組(2019年～)

①水産加工の販路拡大 **想いを共有する全国の同業他社、他業界へ**

- ✓ 今後自社店舗以外にも展開、居酒屋、寿司店での事前予約制度
- ✓ 店舗販売だけに留まらず、各飲食店のキッチンを活用した宅配事業を展開

二次産業

②教育・研修事業 **子供達への教育や企業研修を事業化する**

- ✓ 定置網漁と獲った魚の加工体験、食体験
- ✓ 地元の空き家を宿泊施設に転用（渚泊）

三次産業

③漁業のICT活用 **「マリンテック」で水産資源の管理を実現（協業）**

- ✓ ICTのスマート水産業による漁獲高予測および定置網魚の効率化を目指す
- ✓ 漁業の操業タイミングをAIで予測する

一次産業

政策アイデア：水産業の六次産業化(全体図)

“モノ”の流通と同時に“ヒト”の交流が重要

未利用魚の活用
水産加工品販路拡大

尾鷲市須賀利漁港



熊野市二木島
(加工)



東京（消費地）

居酒屋



教育(学校)



飲食宅配



企業



「マリンテック」
ICTを活用した
水産資源管理の確立

教育・研修事業

尾鷲市 須賀利漁港の目指すゴール

この「モノ・ヒト資源循環モデル」を確立することで、
地域の所得向上に貢献し、須賀利漁港の水産事業の持続を目指す

現在の取組：8割の魚が価値を生む！

漁業権を獲得し、小型定置網漁に進出

一次産業@尾鷲市須賀利町

小型船舶も購入しました

- 県外企業が漁協准組合員になり、共同漁業権内の小型定置網漁を行う日本初のモデル
- 地元市場へ販売可能な**2割の魚**は市場（三重外湾漁業協同組合）で販売
- 自家消費・養殖用餌・廃棄されていた**8割の魚**から自社居酒屋メニューに活用



現在の取組：8割の魚が価値を生む！

水産加工場を事業承継、自社加工を実施

二次産業@熊野市二木島

- 廃業予定の地元の水産加工場を**事業承継**し、現地在住者で**雇用を創出**
- 居酒屋での利用を想定した加工、通常廃棄される骨等も活用し、**廃棄ロス**を削減

地元の伝統料理を受け継いでね



現在の取組：8割の魚が価値を生む！

輸送を自社便化することで、モノと一緒にヒトも交流

三次産業 ～ 東京へ

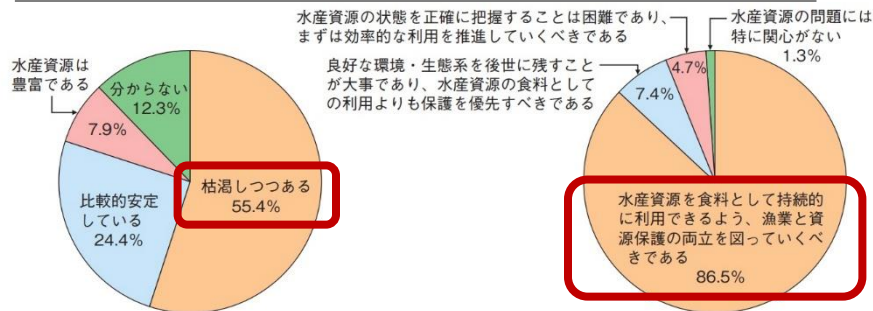
- 水産事業の製造小売モデル（**漁獲、加工、輸送、調理**）で、品質管理と安定供給、天然資源の有効活用を実現
- 東京への輸送途中で**産地野菜**も積み込み
- 尾鷲市の**多種多様な魚**を消費地の人に食べてもらう
- 尾鷲市から**モノと一緒にヒトが来る**ことで地域と東京の人材交流が可能
- 帰りに東京から**新たなヒト（教育・研修参加者）**を運んでくることが可能



これからの取組：教育・研修事業

➤ 「このままでは日本のお魚が食べられなくなる」 この状況に対する消費者の認識は？

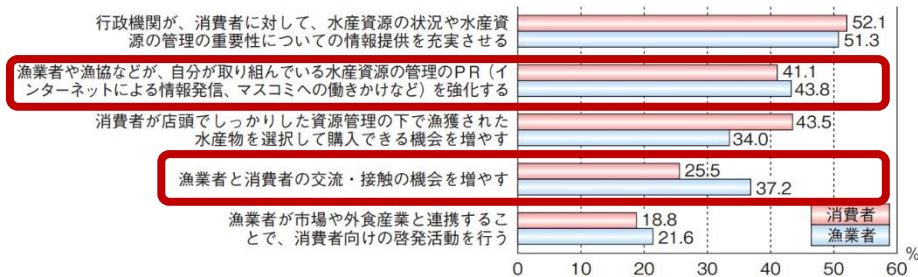
資源状況に対する認識及び
水産資源の利用にかかる考え方
(消費者の意識)



資料：農林水産省「食料・農業・農村及び水産資源の持続的利用に関する意識・意向調査」(平成23年5月公表)

注：情報交流モニターのうち、消費者モニター1,800名を対象。回収率は90.3% (1,626名)。(出所)：水産白書(22年度版)

資源管理について消費者の理解を
深めるために有効な取組
(複数回答)



資料：農林水産省「食料・農業・農村及び水産資源の持続的利用に関する意識・意向調査」(平成23年5月公表)

注：情報交流モニターのうち、漁業者モニター400名、消費者モニター1,800名を対象。回収率はそれぞれ86.8% (347名)、90.3% (1,626名)。(出所)：水産白書(22年度版)

水産資源の
枯渇認識
55.4%

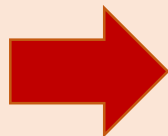


持続的利用
を図るべき
86.5%



資源管理の理解には、
実態把握と漁業者・消費者
の**交流が有効**

実態を理解してもらうには、
現地でリアルな漁業体験
が有効



教育・研修事業
ターゲット：学校・企業

これからの取組：教育・研修事業

➤ 水産業・漁村体験

波が高かったら
出航中止！

今日は一匹もない!?
自然相手だから
そんな日も。。

感動！朝ごはん

浜力フェ体験

釣り船体験



定置網漁体験



お魚加工体験



漁村体験



これぞ水産業・漁村のリアル体験

楽しさも大変さも体験し「自分ごと」になる

教育・研修を事業化する

- ✓ 600人のトライアル実施済
- ✓ 地域資源である空き家の活用(150軒あり)

地域外から収入獲得

関係人口の増加

消費者の水産資源への理解が深まることが重要！

これからの取組：漁業のICT活用

「マリンテック」

地域の水産資源回復と持続可能な漁業に向けて
ICTを活用した適正漁獲量把握により、資源管理のモデルを作る

現状の問題点

正確な水産資源量のデータなし

➡ 適正な漁獲可能量が分からない

課題

海のバランスシートを作る

➡ 海の見える化

対策

スマート水産業の実証実験

➡ 「マリンテック」実施

スマート水産業とは？

ICT等の先端技術の導入、資源調査・評価のデータフル活用により、適切な資源評価・管理や生産性の向上を目指す漁業

株式会社ゲイト

×

株式会社KDDI総合研究所

×

三重外湾漁業協同組合



尾鷲市須賀利町モデルの確立と全国への水平展開

～我々の想いの出発点～

日本の美味しいお魚をずっと食べられるようにする！



尾鷲市須賀利町と東京の「モノ・ヒト資源循環モデル」 で六次産業化の成功例を確立する

- ✓ 地元の人も価値に気づかない8割の魚を活用
- ✓ 地元漁村や加工場で教育・企業研修を実施
- ✓ ICTを活用した水産資源管理モデルを構築

須賀利町 漁村の
課題解消！



「モノ・ヒト資源循環モデル」を全国展開し、漁村消滅 を食い止める

- ✓ 全国の漁村は須賀利町と同様の課題を抱えている
- ✓ 理念を共有する仲間を増やす
- ✓ 仲間とともにビジネスモデルを全国に展開する

そして
全国の漁村の
課題解消
したい！！